

千葉県立船橋高校放送委員会の活動について

船橋高等学校 放送委員会顧問

香 取 宏

山本麻友香・益子夏実・浅野大和・清水駿介(2年)

見えない裏方として最高のパフォーマンスを！

第一部. 行事運営の改善の取り組みについて

○放送委員ならではの「あるある」

- ・急に押し付けられるお仕事
- ・これくらいなら簡単にできるだろうというイメージ
⇒「音を出す」というのは実は大変なこと
自分たちのできる範囲で相手の要望にできるだけ答えるためには

○「あるある」を無くすために

- ・実際に行った対策や取り組みについて

第二部. 船高放送委員会の日々の活動について

○お昼の放送の内容

- ・「曲を流すだけ」「少し話すだけ」ではない
- ・実際に何をしているのか 少しでも紹介

○実は大切な「学校説明会」

- ・先生が運営する学校説明会で生徒である私達はどのように動いているのか

○技術レベルを上げるための取り組みとして

- ・校内発表会のやり方
- ・日常的な番組作りの試み

○校内放送活動を通して目指すこと

船橋高校 放送委員会

Funabashi Broadcasting Committee

船橋高校 とは ①

生徒が主体！

▶文化祭や新入生歓迎会などの行事は、生徒が主体となって、一から作りあげるのが多い。

▶先生に頼りきりではなく、生徒が自ら行事を仕切って運営していく。



行事運営の主要メンバー

◎生徒会

主に新入生歓迎会や、三年生を送る会を運営する。

◎文化委員会

主に文化祭や、合唱祭、かるた大会を運営する。
放送委員会のように有志の団体。

年間行事予定表

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入学式	新入生オリエンテーション	文化祭	オリケストラ部定期演奏会 学校説明会	球技大会	陸上競技大会	修学旅行	合唱祭	オリケストラコンサート	かるた大会	予備会	卒業式	合唱部定期演奏会

共通点 (例：文化祭)

文化祭は、文化委員会が運営している。
ただし、一日目終わった後にある中夜祭は、生徒会が運営している。

- ▶ 1つの行事に2つの主催団体が存在する
- ▶▶ **それぞれに合わせたやり方**で運営していくので、双方と話し合う必要性が出てくる

困ったこと

「こんなこともできないの？」②

- ▶放送委員会はテレビ局みたいなのができるというイメージ
- ▶▶結果的に無理難題を押し付けられたり、仕事を受け持ちすぎることも！

「相手の要望にできるだけ答えたい」
「効率よく運営したい」

困ったこと(1) (具体例)

文化祭について文化委員会と話し合おうとしなかった

- ▶文化委員会からも話しかけられることがなかった
- ▶▶文化祭の状況が何もわからず、慌てて三週間前に話しかけに行った

{何度も関係者で積極的に集まり話し合う}

- ▶細かいことまで話し合い、**全体の流れを全員が把握**
- ▷たまたま把握していない人がいて、もう一度説明し直すことも...

「積極的」とは

「相手から言われて動く」

- ▶仕事のような感覚になってしまい、言われた通りのことをそのままやっている。
- ▶▶行事の全体像が見えてないので、いざという時に臨機応変に対応することが出来ない。

「全体の流れを把握したうえで動く」

- ▶「行事がどのように進めば成功なのか」を主催団体が把握できる
- ▶▶トラブル発生！
- ▶放送委員会の対応に主催団体がサポートしてくれる (ex.マイクの受け渡しの際のトラブル)

▷もっとスムーズに運営することができる

困ったこと(2)

文化祭の当日、ダンス部が急に機材の使い方を聞いてきた

- ▶文化祭の準備で忙しい中だった
- ▶▶丁寧な説明ができなかった上、私達の準備も遅れてしまった

{リハを隅々までおこなう}

- ▶当日の流れを、最初から最後まで確認する
- ▶▶タイムロスがなくなる

{今後の目指すべき方向}

「全校生徒に行事を楽しんでもらいたい」

- ▶発表団体に全力で発表してもらいたい
- ▶▶そのために、主催団体、発表団体、放送委員会の3つの団体で、運営について細かいことまで話し合う必要がある

「ともに行事を作っていく」ということを
双方で意識していく

校内活動

- ① 昼、放課後の放送
- ② 行事の運営
- ③ 校内発表会

① 昼、放課後の放送

読み班



- ・ 昼放送の原稿は、自分で書く＆読む！
→ 文章構成力UP！
→ 自分の目標に合わせた原稿にできる
- ・ 実際に毎週読む
→ 実践に慣れることができる！

① 昼、放課後の放送

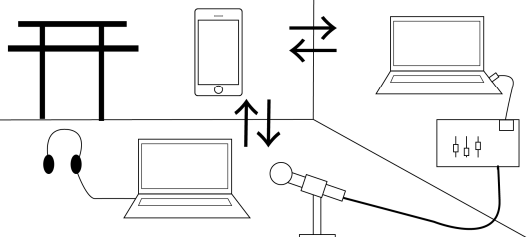
技術班

- ・ ミキサー等の音響機器に慣れる
→ 行事で焦ることなく作業できる！
→ ハプニングに対応する力がつく
- ・ アナウンス班とのコミュニケーション
→ 円滑な連携を取りやすくなる！

昼放送では...

- ◎ 先生インタビュー 
 - ▶ 先生方にラジオ形式のインタビュー
 - ▶ ちょっと知らない一面が見られて楽しい
- ◎ 生徒インタビュー 
 - ▶ 放課後に校内の様々な場所で生徒にインタビュー
 - ▶ テーマは時期にあったもの (ex. 行事の感想...)
 - ▶ インタに協力してくれない生徒が多い

放送進行中の中継放送



② 行事の運営

<読み班>

- (1) 司会進行
- (2) インタビュー
- (3) 連絡放送

<技術班>

- (1) 音響機器の貸し出し
- (2) 映像制作
- (3) 記録映像の撮影



③ 校内発表会

【校内読み会】

- ・過去のNコンの原稿で練習して、長期休み明けに発表会
→長期休み中に読みを一気に向上!

【ミニ番組】

- ・自校のアナウンス原稿から番組制作
→番組制作時の構成力、編集力向上!

「義手のバイオリニスト」

校内活動は本当に大事!

- ・インタビューの録音
- ▶取材の練習
- ・行事での撮影・まとめビデオ作成
- ▶画角を常日頃から意識できる・編集の練習になる
- ・行事での運営
- ▶多くの人と関わるので、面白いネタや新しい情報が入ってくる

校内活動があることで
大会へのいい刺激になっている